

「愛知・名古屋 戦争に関する資料館」について

「愛知・名古屋 戦争に関する資料館」は、県民の皆様から寄せられた、戦争に関する実物資料の展示を行うことにより、戦争体験を次の世代に引き継ぎ、戦争の残した教訓や平和の大切さを県民が学ぶことにより、平和を希求する豊かな心を育み、平和な社会の発展に寄与することを目的としています。

◎資料の寄贈について

当館では、県民の皆様から寄贈された実物資料を中心に展示を行っています。寄贈のご相談は、「愛知・名古屋 戦争に関する資料館」までご連絡ください。

◎その他

「愛知・名古屋 戦争に関する資料館」では、夏休み特別企画などのイベントを実施しております。詳細は随時、ホームページの「イベントのご案内」に掲載しますのでご確認ください。

「愛知県庁大津橋分室」について

愛知県庁大津橋分室は、黒川巳喜氏(黒川紀章氏の父)、土田幸二郎氏らが設計した地上3階・地下1階建ての鉄筋コンクリートの建物で、昭和8(1933)年に建設されました。

正面右手に階段塔を配することで建物全体を非対称とし、表現主義的な意匠が用いられています。

また、1階外壁は石張り、2階以上はスクラッチタイルで覆われるとともに、1階天井は手の込んだ漆喰装飾が施されています。

愛知県信用組合連合会によって建設され、昭和32(1957)年に社団法人愛知県農林会館から愛知県に寄付されました。



〈テラコッタ〉松明飾りなどの装飾が施されています。

〈スクラッチタイル〉

ひっかき模様を刻んだタイルで、昭和初期に流行しました。



ご利用案内

開館時間 午前10時から午後4時まで

休館日 月曜日・火曜日(祝日は開館し、直後の平日が休館)、
年末年始、その他展示替え等による臨時休館あり
※休館日のご利用についてはご相談ください。

所在地 愛知県庁大津橋分室 1階

入館料 無料



〔交通案内〕

- 地下鉄名城線「市役所」4番出口から南へ徒歩約5分
- 地下鉄桜通線・名城線「久屋大通」1番出口から北へ徒歩約8分
- 市バス「大津橋」から徒歩約1分

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

愛知・名古屋 戦争に関する資料館

お問い合わせ

住所：〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目4番13号
愛知県庁大津橋分室 1階

TEL：(052)957-3090 / FAX：(052)957-3091

e-mail：an-shiryokan@ark.ocn.ne.jp

ホームページ

<http://www.pref.aichi.jp/kenmin-soumu/chosakai/>



「愛知・名古屋 戦争に関する資料館」は、愛知県と名古屋市が共同で設置した「戦争に関する資料館運営協議会」によって運営されています。



愛知・名古屋 戦争に関する資料館



愛知県庁大津橋分室



「愛知・名古屋 戦争に関する資料館」案内

展示室には、「県民の戦争体験」と「戦争に関わる地域史」を軸とする地域性を重視した展示コーナーを配し、資料を通じて来館者自らが平和や戦争について考えていただく展示としています。

※企画展示の内容により、展示構成が変更になる場合があります。

1 戦争に関わる地域史

このコーナーでは、名古屋空襲を中心に、戦前の都市化・工業化、戦中の動向など、この地域で起こった出来事の資料を展示しています。



◀E46集束焼夷弾(模型)

このコーナーでは、E46集束焼夷弾の模型や、名古屋空襲のCG等もご覧いただけます。

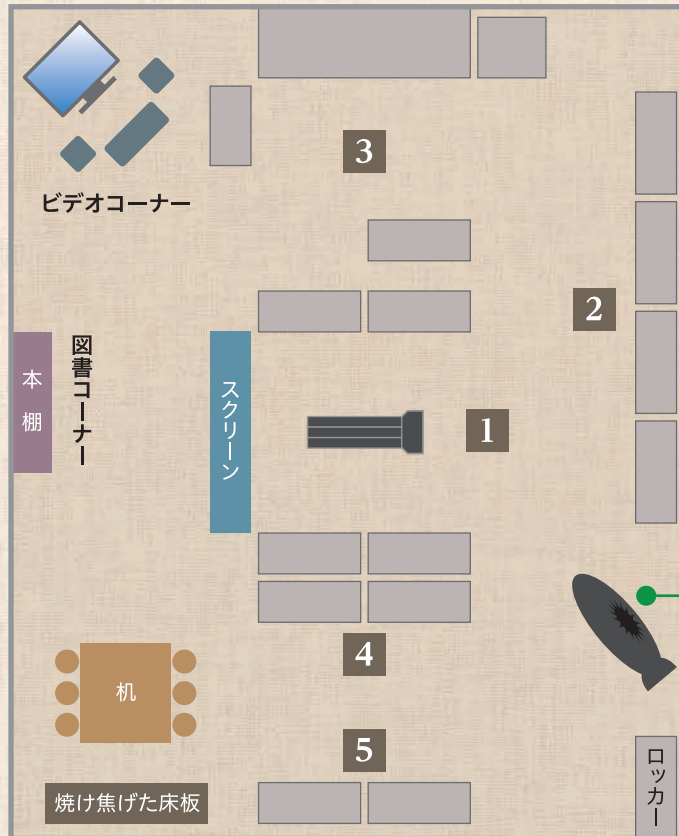
2 県民の戦争体験Ⅰ(銃後の暮らし)

このコーナーでは、戦時体制下のこの地域における県民の生活や学校教育などの資料を展示しています。戦争が人々の暮らしに及ぼした影響を紹介します。



3 県民の戦争体験Ⅱ(軍隊・戦地)

このコーナーでは、県民の軍隊生活や戦場体験などの資料を展示しています。当時の人々にとって軍隊に入ることや戦場に立つことがどのようなことであったかを紹介します。



展示室出入口

学べる!

図書コーナー

戦争に関する本や子ども向けの絵本、愛知県内の地誌などを配架しています。本は展示室内でご自由にお読みいただけます。



ビデオコーナー

このコーナーでは、戦争体験ビデオ「草の根の語りべたち」の上映を行っています。上映中のビデオ以外のDVDも視聴できます。詳しくはスタッフにお声掛けください。

『草の根の語りべたち』

「戦争に関する資料館運営協議会」が制作した、戦争体験者の語りを収録したビデオです。



4 戦後の地域史

このコーナーでは、戦後改革、戦地からの復員、復興とまちづくりなどの資料を展示しています。終戦後の地域の様子や名古屋の街の変遷を紹介します。



5 企画コーナー

このコーナーでは、定期的に、戦争に関する様々なテーマによる企画展示を行います。



250キロ爆弾

1997(平成9)年に南警察署の工事現場から発見された爆弾。火薬を装填すると492ポンド(221.4kg)あったことから250キロ爆弾といわれています。



《団体見学》

当館では、5名以上の団体による見学を受け付けております。事前のお申込みにより、資料館スタッフによる展示資料等の説明も可能です。

《戦争体験ビデオの貸出》

戦争体験のない県民が、戦争の悲惨さや平和の大切さを実感するための貴重な資料として、戦争体験者の協力を得て、戦争体験ビデオ(DVD)を制作し、貸出しを行っています。

※詳細は、ホームページをご覧ください。資料館にお問い合わせください。